

- 上野図書館 ☎ 21-6868
- いがまち公民館図書室 ☎ 45-9122
- 島ヶ原公民館図書室 (島ヶ原会館内) ☎ 59-2291
- 阿山公民館図書室 (あやま文化センター内) ☎ 43-0154
- 大山田公民館図書室 ☎ 47-1175
- 青山公民館図書室 ☎ 52-1110

図書館だより

Library Information

★新着図書紹介 (上野図書館)

■一般書

『ザ・近鉄線さんぽ
名古屋～伊勢志摩編』
交通新聞社／編
近鉄線名古屋～三重エリ
アのスポット&グルメを紹
介する本です。式年遷宮を
迎える今年、「美し国」三
重の魅力が存分に引き出さ
れています。

■一般書

『日本全国ご当地スーパー
掘り出しの逸品』
菅原 佳己／著
しるこサンド、満月ポン、
紅しょうがの天ぷら、せみ
餃子…実は、み～んなロー
カル食品なんです！全国の
スーパーから集めたご当地
食品を紹介した、楽しい一
冊です。

■児童書

『ルパン最後の恋』
ルブラン／作
ルパンの祖父が手に入れ
た本をめぐる、イギリス
王家とフランスが繰り広げ
ていた争奪戦は、国際的な
陰謀へと発展。70年もの
間未発表となっていた作品
が、子ども向けに翻訳され
ました。

■絵本

『おしりをしりたい』
鈴木 のりたけ／作
“おしりに火がついた”って
何？どこからどこまでがお
しりなの？私たちが知らな
い、偉大なお
しりの謎を、
「おしりおし
り隊」が究
明します。



3月の読み聞かせ

開催日	会場	時間	催物	*は読み手
6日(水)	ふるさと会館いが小ホール	10:00～1時間程度	絵本の時間	
9日(土)	上野図書館 2階視聴覚室	10:30～30分程度	おはなしの会	
14日(木)	上野図書館 2階視聴覚室	10:30～30分程度	えほんのひろば	*おはなしボランティア「ちいさなねこ」
16日(土)	いがまち公民館会議室(和室)	10:00～30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「ぶらんこ」
16日(土)	大山田公民館図書室えほんのへや	10:30～30分程度	おはなしたいむ	*おはなしボランティア「きらきら」
17日(日)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30～30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「はあと&はあと」
17日(日)	島ヶ原会館ふれあいホール	12:30～30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「ネエよんで」
19日(火)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30～30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「はあと&はあと」
23日(土)	上野図書館 2階視聴覚室	10:30～30分程度	おはなしの会	*おはなしクラブ「いがぐり」
27日(水)	上野図書館 2階視聴覚室	10:30～30分程度	えほんの森	*おはなしボランティア「よもよも」
27日(水)	青山公民館図書室絵本のコーナー	10:30～30分程度	おはなしなあに?	

★絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします

近代の耕地整理事業

市史編さんだより (28)

私たちの身近にある田畑は、その多くが昭和40年代以降、県や市町村が中心となり、地元の人々の協力を得て、「ほ場整備事業」により区画され、用排水路・道路などが整備されました。しかし、こうした耕地の改良は戦前にも行われていたことをご存じでしょうか。今回は、明治から昭和初期にかけて実施された耕地整理事業を紹介します。

明治32年(1899年)、分散する所有地をまとめることや、形の違う耕地をできるだけ四角形に近い形にして、耕作しやすく改良することを目的として「耕地整理法」が制定され、翌33年に施行されました。

『三重県統計』によると、伊賀地域で本格的に実施されたのは明治40年代以降になってからで、明治42年には、玉瀧村横山で859筆(53町5反)の耕地が670筆(59町6反)の耕地へ、小田村・新居村・上野町では、191町4反の耕地から197町4反の耕地へと整理することが認められました。

小田町の平井神社に残る耕地整理の記念碑には、事業の経緯が刻まれています。それによると、小田町の耕地は傾斜が緩やかで灌漑・排水ともに円滑でないので、浸水・旱害の被害を受けている。こうした被害から

村の連合耕地整理を実施した。工事は明治41年12月に起工し、大正7年7月に竣工した。耕地整理の結果「良田二百八町七反を得たり区画整然として溝沍の配置宜しきに適ひ耕作の力省かれ水旱の災除かれ」て、村民は大いに喜んだとあります。

こうした耕地整理事業は、その後、大正2年(1913年)に鍛冶屋、大正7年に古郡、大正10年には北山で実施され、さらに昭和に入ると、東柘植・河合・花之木・中瀬・山田・友生など各村でも施行が認められるようになりました。

戦前の耕地整理は、現在のような建設機械もなく大きな労力を伴うもので、土地の所有者が替わる場合などの手続きも困難を極めたものと思われまます。しかし、こうした努力が耕地の生産性を上げ、その成果が後世へ伝えられることとなりました。市内に残るいくつかの耕地整理の記念碑は、そうした往時の人びとの労苦を伝えています。



▲耕地整理記念碑(小田町)

総務課市史編さん係
☎ 52・4380 FAX 52・4381